

一般質問

「市政ここが聞きたい」

行・財政



災害に強いまちづくりについて



野口 保信

合併して最初の防災の日を迎えたが、新佐賀市になって地域が大きく広がった分、災害も多様化し被害も大きくなっている。台風十号に於いても大きな被害が発生した。佐賀市の台風十号に対する対策、緊急情報の伝達方法と機器の点検は。

答弁 台風十号の際は早

朝に災害警戒態勢を取った。三瀬・富士支所及び住民へは防災無線及び有線テレビで災害情報等を伝達し注意を呼びかけ、本庁と支所が連携し土砂崩れ等に対する応急対策や危険箇所への通行止め等の対応を行った。現在、防災無線機器等の定期点検は送信設備は実施しているが個別受信機は未実施であり、旧佐賀市内では地域住民へ一斉に情報を

県立病院の移転について



重田 音彦

市長は県立病院の移転について市としても財政的負担もありえると答えられたが、①その理由は②県と市の関係を考えると悪しき前例になるのではないか③どれくらいの額を予定されているのか。

答弁 ①県立病院を佐賀市民のかかりの方が利用されており市民病院的な存在

伝達する手段がないこと等から、今後、市全体で防災行政無線の整備について検討する必要がある。

災害時、応急対策業務の協定を急げ



山本 義昭

合併で市域が広がり、土砂、風雪等の自然災害への迅速な対応がこれまで以上に求められている。現在分

嘉瀬川ダム負担金カットはなぜ



副島 義和

旧大和町では将来のため嘉瀬川ダムより日量五千トを水道水として取水する計画であった。新市ではダムからの取水が必要ないならば、用途変更し工業用水に替えてでもダムからの取水をすべきでは。

答弁 合併後に佐賀市全体の水需要の予測を行った結果、人口の減少などによ

って緊急時に備えている。防災部門の充実が必要だと認識しているが、県の制度をそのまま市に取り入れるのは、人的問題を含め、無理だと考える。建設業協会等との災害時支援協定は今のところ行っていないが、協会から打診があっており、前向きに協議を進めたい。

合併で市域が広がり、土砂、風雪等の自然災害への迅速な対応がこれまで以上に求められている。現在分



り水需要が年々減少する予測となり、既得権の水源地で十分賄うことが可能となったため、嘉瀬川ダムの使用権五千トを取得する必要がなくなった。また、今から新規の工業団地開発の基本方針を策定する段階であるため、現段階では工業用水の確保をする段階ではない。ただ、水道用水から振りかわる部分については不特定用水として嘉瀬川に流していただけるよう要望をしている。

職員の飲酒運転には 厳罰でのぞめ！



中本 正一

福岡市職員の飲酒運転死亡事故を契機に、各地で続く公務員の飲酒運転に対し

多くの住民が厳しい視線を向けている。佐賀市も、酒気帯びや飲酒運転補助^{ほうしよ}についても免職の規定を設け、職員の法令遵守に厳しく取り組むべきではないか。

答弁 職員の飲酒運転防止については、通知や所属

長を通して指導を行っている。現在、佐賀市の懲戒処分に関する指針では、酒気帯びで運転しただけでは懲戒免職の対象とならない。また、飲酒運転の同乗者などに対する飲酒運転補助^{ほうしよ}については、処分を規定して

いない。しかし、道路交通法違反であり、かつ信用失墜行為であるので、当然懲戒処分の対象になると考えている。酒気帯び運転・飲酒運転補助の場合についても免職規定を設けるよう、指針の見直しを行いたい。

街中に公衆トイレ の設置計画は



松尾 和男

TOJIN茶屋に公衆トイレが出来たが、街中に公衆トイレが少ない。今後、設置の計画はあるのか。又、民間の既存のトイレを一般

費用がかかり、夜の利用に関しては安全面やいたずらなど問題がある。TOJIN茶屋やバスセンターのコンビニエンスストアに併設したトイレなどは、常に近くに人がいるため清潔かつ安全である。こうした観点から、行政設置ばかりでなく、近隣商店や事務所等が観光客に開放するという発想を考えている。ユニバーサルデザイン改修への補助は現在のところ考えてないが、他都市を参考にし、今後の方向性を検討したい。

産業振興

『道の駅大和』に 農村レストランを



平原 嘉徳

今後の佐賀市の観光戦略を考えたとき、グリーン・

ることから、利用目的が決まっている。そこでレストランの整備が可能かどうか県と協議した。その結果、施設の用途変更が必要になり、用途変更できたとしても保

健所の指導どおりの改装が可能かどうか、研修室がなくなった場合その代替はどうするかなど、幾つかの課題がわかった。これらの課題をできるだけ克服できるように協議していきたい。

答弁 佐賀城周辺のお濠は大変貴重であり、濠端の遊歩道では桜や楠などの光景が素晴らしい。この遊歩道を明るく歩きやすくシツクなものにし、統一した街路灯でロマンチックな夜の歩道として整備できれば観光的にも趣が変わると思う。城内地区の整備は県が実施主体であるが、具体的な整備等については県と十分に協議していきたい。観光都市宣言は、現在観光戦略プランを策定中であり、策定後には内容や適当な時期を見て、観光都市宣言も必要になると考えている。

答弁 公衆トイレの単独設置は、建設や維持管理に

費用がかかり、夜の利用に関しては安全面やいたずらなど問題がある。TOJIN茶屋やバスセンターのコンビニエンスストアに併設したトイレなどは、常に近くに人がいるため清潔かつ安全である。こうした観点から、行政設置ばかりでなく、近隣商店や事務所等が観光客に開放するという発想を考えている。ユニバーサルデザイン改修への補助は現在のところ考えてないが、他都市を参考にし、今後の方向性を検討したい。

ツーリズムの取り組みが重要なポイントになると思われる。食材の地産地消の観点から『道の駅大和』に農村レストランを整備し、更なる集客力を図る考えはないか。



毎年二億円以上の巨費がバルーン等ソフト事業に消費され何も残らない。内五十%でも市街地観光インフラ整備に廻し小樽運河の様なシャレた街灯に修景されたお濠遊歩道整備ができないか。市の決意を示す観光都市宣言を実施しては。

答弁 「道の駅大和」のそ



※1 グリーン・ツーリズム
※2 ユニバーサルデザイン

農村や漁村での長期滞在型休暇。都市住民が農家などにホームステイして農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動。「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすることをいう。

住宅・開発



特色ある公園の整備について



江頭 弘美

蓮池公園の都市公園としての位置づけ並びに桜等樹木の維持管理対策を伺う。市民からも桜の管理体制の不備が指摘されている。蓮池公園の桜も植え替えの時

がきているのではないかと。植え替えを行うのであれば抜本的な対策が必要では。

答弁 蓮池公園は旧蓮池藩主のやかた跡で、桜、しょうぶの名所として多くの市民に親しまれており、市としても、非常に価値のあるものだとして認識している。都市計画法施行規則による位置づけは近隣公園である。



公園の桜の木は、植えられてから五、六十年経過している。今後、樹木医あるいは専門家と一緒に、現状調査や土壌試験等を行い、意

見を聞きながら、蓮池公園に適した樹木、あるいは桜をどうするかということについて、早速調査・研究を行いたい。

久保泉工業団地 売後の諸問題



西村 嘉宣

同工業団地はほぼ売売されたが、地元優先雇用の取組みは。今後従業員の宿舎等への支援はされるのか。周辺の交通安全対策と渋滞

解消についてどう考えられているか。念仏橋の上流にもう一本、橋を架けることはできないのか。

答弁 企業に対し、市内在住者雇用の場合は雇用奨励金等の補助を行い、積極的に地元採用をお願いしている。また、自宅通勤か社宅を作るかは企業側の方針であり、今までは地元採用との関係からか、宿舎等に関する相談は受けていない。交通安全施策では、工業団地周辺の危険箇所と思われる

る交差点については、現地調査を行い、地元自治会を初め関係機関と協議していく。しかし今後の交通量は計画時の想定範囲内と予想されるので、新たな橋梁や道路整備は計画していない。

都市計画・有効な土地利用について



山口 弘展

①市街化調整区域の開発行為について、都計法三十四条八号三などの条例化策定に向けての準備、今後のスケジュールは②現状遊休地、休耕地となっている農地に対する今後の対策は③農振地区域の今後の見直しはどうしていくのか。

答弁 ①現在、市街化調整区域の現状や課題、他市の事例を調査している。本年度末の策定を予定している都市計画マスタープランと同時に条例を視野に入れながら作業を進めている②活用できる農地は担い手へ集積し、必要性に乏しいものは植林、採草牧草地等他の農地として利用する計画である③前回、平成十一年に見直しを行った。おおむね五年ごとに基礎調査をし、

不法な占用物件の是正措置に処分も



瀬井 一成

必要に応じ見直しを行うが、市町村合併があり見送っていた。今度の合併が落ち着けば、速やかに行いたい。

市は地方分権推進法の施行に伴い、権限委譲で公有水面の管理を行っている。不法な占用物件の実態把握と対処の考え方を伺う。

また、是正要綱に基づいた行政指導と、告発を含む強制処分等の是正措置が必要と考えるがどうか。

答弁 実態把握について現時点では十分な把握ができていないため、河川パトロールや市民からの通報等で把握をしているのが現状である。また、市公有水面不法埋立占用是正要綱を平成十二年に制定しており、今後この要綱に基づいて対応できるところについては

積極的に対応していきたい。ただ、権利関係がかなり複雑な点もあり、実際起こってしまったことを是正する

には相当な労力や時間がかかるため、今後は予防に特に力をいれていきたい。



環境・衛生



河川の流量不足を どう解決するか



福井 章司

①環境用水に関する連絡協議会での議論内容は②嘉瀬川ダムの水利権返上・

二万トについて市の考えは③環境用水の必要水量どう考えるか④流量情報を公開せよ⑤環境用水とまちづくりにについての考えは⑥庁内で横断的検討会を作れるか。

水量の配分について②不特定用水に充当して欲しいと考え、関係課連絡を取り合って進めていきたい。

嘉瀬地区最終処分場の 今後について



川原田 裕明

この施設については、地域住民は相当長い間、協力と我慢を強いられている。

この施設の現状と今後の方向性について具体的に執行部の見解を求める。現状では周辺環境が相当悪く、住民感情をしっかりと受け止め、今後の対応を求める。

最終処分場を利用させていただきたいと考えており、今年度から延命化のために堰堤のかさ上げ工事を実施し、約三十年分の容量を確保できる見込みである。今後、連絡協議会や地元の皆様と十分に協議しながら、計画的に周囲の植栽工事等を行い、処分場の環境面の保全と景観に十分配慮していきたい。

保健・福祉



住民税負担増の 影響と独自の支援策



山下 明子

十八年度税制改定による市民生活への影響と税収額は、これまで非課税だったのに課税となる人数は。それにより非課税を対象とする紙おむつ支給などの福祉サービスを受けられなくなる人数と金額は。継続利用

できる支援策を求める。

十七名約百一万円、寝具洗濯乾燥消毒サービスは十三名約九万円がサービス停止となる。継続支援について、一部の人の還元はかえって不均衡であると考えている。

障害者自立支援法の 影響について



本田 耕一郎

社会的責任を果たしている企業との取引推進を③地域活動支援センターとは。

乳幼児医療費助成の就学前まで拡大を



嘉村 弘和

市も拡大すべきでは。